

サイエンティフィック・システム研究会
教育環境分科会2009年度第二回会合

インターンシップ受け入れ先の 現状とその効果

2009年11月25日

富士通株式会社 中央支社
文教統括営業部 藤野 弘之

本日本話すること

1. 富士通のインターンシップ制度の概要
2. 文教統括営業部におけるインターンシップ
 - ・目的、いままでの実績
 - ・学生はどのような活動をしているのか
 - ・そこから何を得ているのか
3. インターン生にみる最近の学生の質
4. 大学教育で実社会で役立っているのはどんなことか
5. 学生を評価する視点 ～現場の視点と人事の視点～
6. 新人へのインタビュー

1. 富士通のインターンシップ制度の概要



(1)インターンシップの目的

早期から当社の技術やビジネスと関わりを持たせ、学生の職業観を醸成し、専門性を高めることは、採用活動上での有効な手段である。

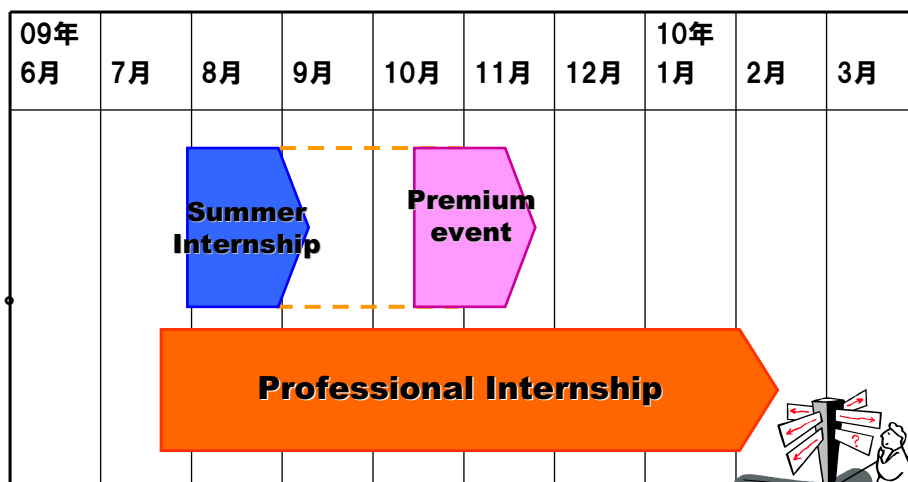
また、産官学連携でのインターンシップの実施は、社会からの要請である。

富士通(株)人材採用センター

1. 富士通のインターンシップ制度の概要



(2)スケジュール(2009年度)



1. 富士通のインターンシップ制度の概要



(3) Professional Internshipとは

期間: 3週間 (通年実施)

受入れ職場: 首都圏(東京・神奈川)が中心

- ・ 富士通の各職場に入り、実際の業務を体験
- 約110のテーマ、5期より選択可能
- ・ 期間中は先輩社員 (メンター) がフォロー

- ・ 第1期 7月21日(火) ~ 8月7日(金)
- ・ 第2期 8月24日(月) ~ 9月11日(金)
- ・ 第3期 10月5日(月) ~ 10月23日(金)
- ・ 第4期 11月9日(月) ~ 11月27日(金)
- ・ 第5期 1月25日(月) ~ 2月12日(金)



4

1. 富士通のインターンシップ制度の概要



Professional Internshipで体験できる仕事(職種)

	職 種
ソリューション	ソリューション営業
	システムエンジニア
研究開発	プロダクト (ハード/ソフト)
	研究
事業スタッフ	経理・財務
	法務・知財
	調達・購買
	事業推進・生産計画

5

1. 富士通のインターンシップ制度の概要



Professional Internshipの受け入れ実績

年 度	テーマ数	応募総数	参加者数
2006年度	169テーマ	687名	272名
2007年度	147テーマ	490名	172名
2008年度	139テーマ	475名	164名

6

2. 文教統括営業部におけるインターンシップ



(1) 目 的

(人材採用センターの目的に加えて)

- 学生(お客様のお客様)の生の声に接する
- システム、サービス以外の価値をお客さまに提供する
- 若手社員をメンターに積極登用し、部下指導、マネジメント経験を通して、人材育成を図る

中央支社文教統括営業部

7

2. 文教統括営業部におけるインターンシップ

(2)受け入れ実績

年 度	参加大学数	参加者数	うち入社者
2006年度	6大学	6名	2名
2007年度※	14大学	16名	5名
2008年度	9大学	14名	—
2009年度※※	5大学	9名	—

(※ほかに韓国から短期インターン5名を受け入れ)
(※※9月までの実績)

・首都圏中心だが、北大から鹿大まで全国から多数の学生が参加

8

2. 文教統括営業部におけるインターンシップ

(3)実際の活動はどのようなものか

- ・オフィスで社員と机を並べて、
- ・社員に同行してお客様先を訪問したり、
- ・社内会議に参加したり(議事録書きも体験)、
- ・提案書／見積書作成を手伝ったり、
- ・定例会では必ず新商品説明などプレゼン機会を与え、
- ・最後に、自分の大学に対する提案書を作成し、
部員全員の前でプレゼンテーションする

**インターンシップ生の成果発表会資料から、
その一端を紹介します。**

9

FUJITSU

インターン生A君の
実習期間中のスケジュール

	SUN	MON	TUE	THU	FRI	SAT
		8/20	21	22	23	24
AM		オリエンテーション 川崎工場 (8:45~12:00)	B大学YC 対策会議 (9:40~13:00)	B大学YC 搬入作業 (10:00~13:00)	C大学 SNS打ち合わせ (10:00~12:00)	一週間のまとめ 事務所30階
PM		A機構 課会 事務所30階 (15:30~18:30)	社内勉強会 事務所30階 (17:00~18:00)	ネットワークセミナー 東京ドームホテル (14:30~17:15)	・PC設定 ・22日セミナーまとめ 事務所30階 (14:00~18:30)	・小中高情報交換会 ・ビジネス改革友の会 事務所24階 (13:00~17:00)
	26	27	28	29	30	31
AM		まとめ 事務所30階	課会 事務所31階 (9:30~11:00) E大学理工学部 書類提出 (12:30~13:30)	まとめ 事務所30階	F大学 書類受け渡し 〇〇センター 飛び込み (9:50~11:30)	G大学教務課 定例会 (10:00~12:00)
PM		D大学 定例会 (13:30~17:00)	中間発表会 川崎工場 (14:40~17:30)	社内打ち合わせ (13:00~14:00) 都庁移転打ち合わせ (15:00~17:00)	F大学 マシン入れ替え下見 (13:50~15:30)	一週間のまとめ 事務所30階
	2	3	4	5	6	7
AM		パイプラインセッション 事務所31階 (9:00~11:00)	課会 事務所31階 (9:30~11:30)	・まとめ ・発表用資料作成 事務所30階	・まとめ ・発表用資料作成 事務所30階	
PM		G大学定例会 人事連携打ち合わせ (13:00~17:00) 社内勉強会 事務所 (17:00~18:00)	H大学ITセンター 定例会 (14:00~17:00)	商談報告会 事務所24階 (18:00~20:00)	成果発表会 事務所27階 (16:00~18:00)	全体発表会 汐留事務所32階 (12:40~17:30)

10

FUJITSU

Ⅲ. 実習内容

実習先: 私大2G

Bさんの実習期間中にやったことのまとめ

顧客イベント

個別打ち合わせ 6回

A大学: 情報センター訪問 (保守契約の説明)
B大学: 訪問
 C学校法人: 会計システム撤退の原因・情報収集
 D大学: 補助金申請上の注意事項について
 E大学: 情報システム課訪問
 A大学: デモ

定例会 4回

B大学図書定例会: キズケケイの紹介
 E大学図書定例会: キズケケイの紹介
 A大学教務定例会: キズケケイの紹介
 A大学図書定例会: SE作業報告

社内イベント

社内会議 9回

部会
 私大2G課会 (3)
 リス・レナルの勉強会
 A大学図書館システム更新の打ち合わせ
 フィットイベント打ち合わせ (蒲田)
 私大ビジネスを考える会
 統括部PLS

調査及び資料作成 5件

議事録作成 (図書館システム更新の打ち合わせ)
 iLiswave-J移行スケジュール表の修正
 見積もり資料作成 (C大学の学生支援PC)
 大学別志願者数調査
 グループ内出欠の管理

11

Contents

- ①. 顧客概要
 - 1-1 顧客概要(基本情報)
 - 1-2 顧客概要(ビジョン)
 - 1-3 顧客概要(特色)
 - 1-4 顧客概要(グループ校)
- ②. 財務分析
 - 2-1 財務分析(公開情報)
 - 2-2 財務分析(他大学との比較)
 - 2-3 財務分析(収入源の分析)
- ③. 課題体系図
- ④. 大学の課題
- ⑤. 課題解決案



Cさんの自分の大学への提案(抜粋)

2-2. 財務分析(他大学との比較)

	 大	A大	B大	C大	D大	E大
基本情報						
学生数	23,465	28,507	30,261	28,703	68,818	28,277
教職員数	1,060	3,451	2,869	2,900	4,460	1,052
学部数	9	10	20	9	14	12
2008年度志望者倍率						
志願者数	39,810	53,316	49,516	108,946	85,942	97,017
倍率	3.3倍	13.0倍	2.7倍	23.4倍	12.2倍	22.9倍
主要財務指標(単位:百)						
固定資産額	451,378	297,602	281,886	180,063	658,271	151,172
流動資産額	34,936	69,309	56,664	30,099	49,552	25,261
総資産額	486,314	357,911	338,550	210,162	707,823	176,433
自己資本比率	94.9%	74.7%	74.9%	81.0%	98.5%	79.5%
総負債額	24,602	90,603	84,873	40,021	103,587	36,231
帰属収入	845,736	130,805	129,484	49,615	185,819	60,817
消費支出	648,000	120,165	124,765	30,123	181,680	39,626
帰属収支差額比率	23.4%	8.1%	3.6%	39.2%	2.2%	34.8%

WEB上では
情報非公開
本部で閲覧

④. ■■■大学の課題

Cさんの自分の大学への
提案(抜粋)

問題点

1. 他大と比べ、志願者数・倍率が圧倒的に低い

AO入試や推薦入試が募集人数の半数を占める。偏差値の低下や学生の質の低下から首都圏での■■■大学のイメージは×(←何故か地方での評判○)

2. ハードに投資し、ソフトは二の次 傾向

外部から見える建築物への投資は積極的に行っているが、履修登録や入学前教育、モバイル休講案内板など学生に直結する物への投資が消極的

3. 成績下位層への働きかけが弱い

成績上位者には、キャリア支援や大学院の短縮プログラムなどが与えられるが、成績劣等生に対しての働きかけは、単位救済措置などの墮落した対策のみ

4. 裏目に出ている教育方針

様々な学科の講義が履修出来る、専門分野に捉われない方針
→最低限の専門知識を身に付けなくとも楽に卒業できてしまう

14

⑤. 課題解決案 2

Cさんの自分の大学への
提案(抜粋)

2. ハードに投資し、ソフトは二の次 傾向

■■■キャンパスだけで約1万8千人の学生が在籍する。
履修登録期間には学内が大変混雑する事に加え、職員の負担も非常に大きい。

ソフト面の充実

WEB履修登録

総合大学ではポピュラーなシステムを導入する事により、
他大学に負けない環境を作る → 学生満足度向上

15

Dさんの自分の大学への提案(抜粋)

1. ■■■■■ Mailが使われていない
2. ■■■■■ が活用されていない
3. グループ課題ができるブリーフケースがほしい
4. ■■■■■ 校舎2Fの学部掲示板が不便
5. 新学期に学生が教科書を一齐に購入する時にできる行列への不満
6. 図書館における入館時が煩雑、パソコンの空情報が不明確
7. 生徒数に対しての教室数、エレベーターの数が少ない
8. ラウンジやコミュニティスペースが少ない

.....

システム化する事で解決できるのでは？

Dさんの自分の大学への提案(抜粋)

家からできるグループ課題

学校で使用する時間を申請

➔

ヘッドホン&マイクをGET！

申請書
代表者: ○○花子
学籍番号: 1810000501467
使用時間: PM20:00:~22:00

共有フォルダ

利点 Dさんの自分の大学への提案(抜粋)

- オンタイムでみんなが情報を共有でき、会話をしながらみんなで資料を作成できる
- 学生が全員そろいやすい夜中でも資料を作成できる
- 発表の事前練習にも有効的

質問 このようなものがあったら便利だと思いますか？

Yes/39人

No/11人

おもしろそう！便利そう！

18

学生集まる大学にすむために Dさんの自分の大学への提案(抜粋)

理想は...

学生の意見をきちんと聞き、反映させてくれる大学

実際は...

学生 → 大学 教員 → Fujitsu などの 企業 → ~~学生の求める大学の完成!!~~

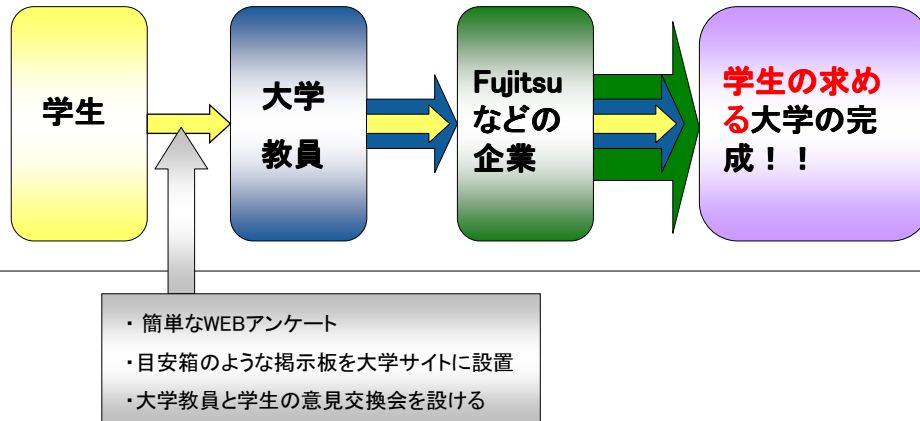
実際:授業以外の学生生活における不満などをフィードバックできる機会がない!!

19

人気爆発の大学にな めに

Dさんの自分の大学への
提案(抜粋)

学生の意見をきちんと聞き、反映させてくれる大学



20

2. 文教統括営業部におけるインターンシップ

FUJITSU

(4) 学生は何を得ているか (インターン生の成果報告から)

- ・コミュニケーション力
- ・チームワーク
- ・責任感、責任の重さ
- ・分業の下での役割意識

- ・精神的タフさ
- ・目標を定めること
- ・自主性・積極性
- ・問題が何かを明確にし、
解決に努めること

- ・ビジネスマナー
- ・自己管理能力

21

3. インターン生にみる最近の学生の質

- ✓真面目
- ✓素直(話をよく聴く)
- ✓熱心(残業厭わず資料作成)
- ✓一般的に器用
- ✓理想は高い

- ✓団体よりも個を好む傾向(クラブ・サークル離れ)
- ✓怒られ慣れていない(すこしの指摘ですぐ落ち込む、泣く)
- ✓「過去問」を知りたがる傾向
(以前のインターン生の発表を参考にしたがる)
- ✓ロジカルさについて、個人差が大きい

- ✓概して女子のほうが積極的
- ✓留学生は意識、能力とも高い

22

4. 大学教育で実社会で役立っているのはどんなことかFUJITSU

- ITリテラシー教育は確実に役に立っている
⇒しかし大学差、学部学科差は大きい(?)
- プレゼンテーション力は練度の差が大きい
⇒ゼミの有無、場慣れの度合いによって、
資料、構成の組み立ての巧拙に差
- 光っている学生は、勉強にも意欲的
(自分の専攻について熱く語れる人)

23

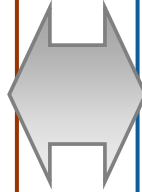
5. 学生を評価する視点

人事の視点

- ・5年後、10年後に会社にとって役立つ人材かどうか？
- ・本人にその意識があるか？
- ・業界研究、企業研究をしっかりと行っているか？
- ・そのうえで、自分なりになぜ富士通を志望するかが明確か？
- ・富士通において自分が何をやるのか？について、どのくらいイメージできているか？

現場の視点

- ・その人の今見せている取組み姿勢(真面目さ、ひたむきさ)、積極性を買う
- ・プレゼンの上手さや論理性があるか？
- ・聞き手を意識した内容となっているか？
- ・営業としてやっていけそうか？
- ・この人と一緒に働きたいか？(チームワークできるか？)

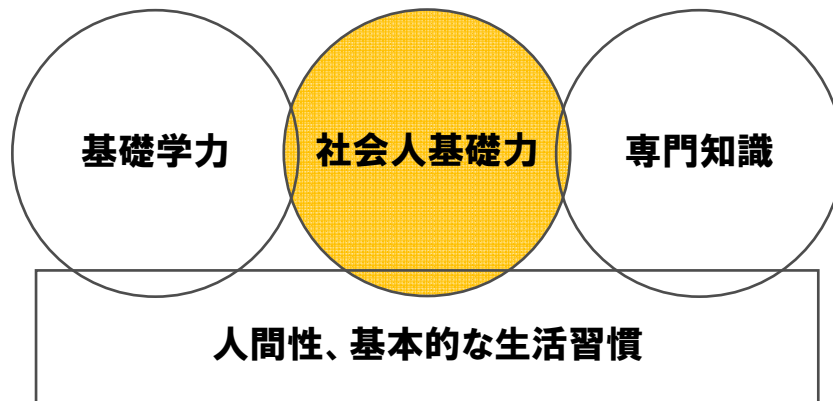


社会人基礎力

24

富士通が求める人材

必要な能力は？



出典：経済産業省 社会人基礎力に関する研究会「中間取りまとめ」

25

社会人基礎力とは？

前に踏み出す力(アクション)

一歩前に踏み出し、失敗しても
粘り強く取り組む力

考え抜く力(シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力

チームで働く力(チームワーク)

多様な人とともに、目標に向けて
協力する力

出典：経済産業省 社会人基礎力に関する研究会「中間取りまとめ」

社会人基礎力

※経済産業省「社会人基礎力」を参考に人物評価

前に踏み出す力 (アクション)	主体性	物事に進んで取り組む力
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力
	実行力	目的を設定し確実に行動する力
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力
	創造力	新しい価値を生み出す力
チームで働く力 (チームワーク)	発信力	自分の意見を分かりやすく伝える力
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力

6. 新人へのインタビュー

FUJITSU

文教統括営業部でのインターンシップを経験し、今年富士通に入社した新人(営業職)にききました。

1. インターンシップでどのような気づきがありましたか。
2. その気づきは、実際に入社してみてどんな点で役に立っていますか？
3. 実際に入社してみて、大学時代に学んだことで役に立っていることはどのようなことですか。

28

6. 新人へのインタビュー

FUJITSU

1. インターンシップでどのような気づきがありましたか。

仕事は与えられるものではなく、自分で見つけていくもの、つまり、主体的に積極的に仕事を見つけていかないと自分の仕事はないんだな、ということに気付けたことは、非常に今の自分にとっても有益だったと思います。

やはりインターン生がお世話になる職場は、フィールドの第一線であり、職場で働く方々は、もちろん大変忙しい職場です。私自身も初めて職場を訪問したときに、みなさん何かに追われているように忙しそうと、思ったことを今でも非常に強く覚えてます。

その中で、インターン生は、どう3週間をすごすか、しっかり考え目標を立て、できる限り実現していく努力をしなければいけなかったんです。そのためには、主体的に、積極的な姿勢は不可欠だと思いました。

私も、せっかく参加できる権利を得たのだから「ぼーっとこの3週間を過ごすわけにいかない」、自分から出来る仕事を見つけよう！と自分を律し行動に移した記憶があります。自分を奮い立たせすぎて泣きそうになったこともありますね・・・必死でしたね・・・

お客様との対話や会議、議事録など具体的な作業などを通して、大切だと思ったことも多くありますが、「社会人として」の社会人の日常の中で、仕事に対する姿勢や意識の持ち方に気付けたことは、後の就職活動にも有益だったかな、と思います。

漠然としています、「社会人として働く」ということを自分で資料を作成して提案、説得する醍醐味を味わった。お客様の立場や現状から、新しいものを提案していく仕事におもしろさを感じました。

29

6. 新人へのインタビュー

FUJITSU

2. その気づきは、実際に入社してみてどんな点で役に立っていますか？

インターンを通して気付いたことは、社会人と学生では評価のされ方が違うということです。今、その気づきが非常に役立っていると思います。

インターン生のときは学生だったため、テストでの評価が当たり前でした。つまり、どれだけインプットしそれをテストで時間内にしっかり書けるかが評価の基準でした。しかし、インターンシップでは、プレゼンテーションの内容や自分の仕事に対する日々の取り組み姿勢が評価されていた、そこで、社会人はどれだけアウトプットできるかとか、アウトプットするまでの過程を評価されるんだな、と気付きました。

あとは、やはりどんどんチャレンジしていく姿勢です。

インターンシップを通して、無鉄砲だろうと積極的に、やりたいことはやりたいと投げかけて、最善をつくす、後悔のないようやりきる、するとすごく爽快感というか達成感を感じることができましたし、自信も少しついたんです。なんだか、同時に今まで見えてこなかった仕事の醍醐味やおもしろさのようなものも感じることができたんですね。なので、どんどんチャレンジしてそれに全力で尽くすことによって、自分自身の成長につながったり、仕事に対する視野が広がることに気付きました。

それらの気づきは研修や職場実習で積極的に情報提供したり成果物を作成したりと、前向きに何かを作り出そう、どんどん自分の意見も出していこうとする意識に非常に役立っていると思います。

30

6. 新人へのインタビュー

FUJITSU

3. 実際に入社してみて、大学時代に学んだことで役に立っていることはどのようなことですか。

大学で学んだことで今役立っていると感じるものは、情報リテラシー、コミュニケーションスキル、英語の3つです。

まず1つ目の情報リテラシーなんですが、情報リテラシー基礎(ワード、エクセル、パワーポイントの基本スキルを身に付けることができた実習形式の授業でした。社会に出ると当たり前のようにPCを与えられ、あたりまえのようにPCでの作業を求められました。つまり、大学卒業時までには、これらの基礎スキルがないということは社会に放り出されても何もできないと感じました。実際私はエクセルをほとんど使用することがなかったので、自力で学習しなければならない場面もありました。社会人はデータを扱うときに当たり前のようにエクセルを利用しているので、それを見越して大学でもエクセルをもっと使用するような授業や課題を与えてほしかったと思います。

2つ目のコミュニケーションスキルは、私は、コミュニケーション系の科目が必修だったので、多くのコミュニケーションスキルを習得しました。説得、交渉などのビジネスに必要なスキルも学びましたし、グローバル化に必要な、異文化コミュニケーションや情報コミュニケーション、あとは、小集団や1対1での効果的なコミュニケーションを実習を通して学習しました。

それらのスキルは、日常ではなかなか自分の力として利用することは難しいのですが、会話や成果物の作成がとどこおった時に思い出して、効果的にコミュニケーションをとるヒントにしています。

31

ご清聴ありがとうございました

FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE